令和 6 年（2024 年）

十勝の交通安全

十勝地区交通安全推進協議会

【 用 語 解 説 】

交通事故	道路交通法第２条第１項第１号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）並びに物損事故をいう。
死亡（死者）	交通事故によって、発生から２４時間以内に亡くなった場合（人）をいう。
重傷（重傷者）	交通事故によって負傷し、一箇月（３０日）以上の治療を要する場合（人）をいう。
軽傷（軽傷者）	交通事故によって負傷し、一箇月（３０日）未満の治療を要する場合（人）をいう。
負傷（負傷者）	重傷（重傷者）と軽傷（軽傷者）の合計をいう。
第一当事者	最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。
第二当事者	過失がより軽い者をいい、また過失が同程度の場合には人身損傷程度が重い者をいう。
高齢者の交通事故	年齢 65 歳以上の者が関係した事故

目　　次

タイトル	内　　容	ページ番号
§１交通事故の概況について	（1）　北海道の発生状況 （2）　管内の発生概況	1
§２交通事故の全体的な特徴について	（1）　月別発生状況 （2）　曜日別発生状況 （3）　時間別発生状況	2
	（4）　道路別発生状況 （5）　道路形状別発生状況 （6）　事故類型別発生状況 （7）　状態別死者・傷者状況	3
	（8）　年齢層別状態別死者・傷者数	4
	(9)　法令違反別発生状況（第１当事者） (10)　居住地別発生状況（第１当事者）	5
	(11)　対象別発生状況（第１当事者）	6
§３事故の個別的特徴について	（1）　二輪車の交通事故 （2）　高校生の交通事故 （3）　歩行者の交通事故	7
	（4）　こどもの交通事故 （5）　高齢者(65 歳以上)の交通事故	8
	（6）　自転車による交通事故 （7）　飲酒運転による交通事故	9
§４交通事故防止に向けた取組み	（1）　令和５年（2023 年）取組概要	10
	（2）　高齢者による交通事故防止への取組 （3）　デイ・ライト点灯率調査	11
参考資料	1.管内死亡事故の概要 2.管内の交通安全功労者等 3.十勝地区交通安全推進協議会の規約等 十勝地区交通安全推進協議会規約 十勝地区交通安全推進協議会事務局規程 4.十勝地区交通安全推進協議会構成団体名簿	12-14 15 16-17 18 19

§１交通事故の概況について

（１）北海道の発生状況

・前年と比べ発生件数、死者数、傷者数全て減少した。

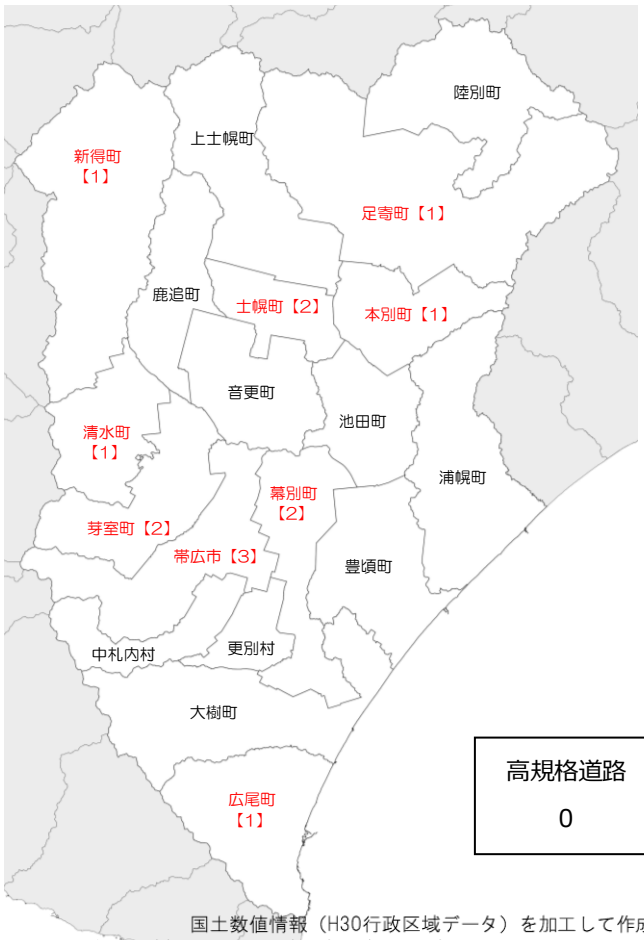
区分＼年		発生件数 死亡	発生件数 重傷	発生件数 軽傷	発生件数 小計	死者数	傷者数 重傷者数	傷者数 軽傷者数	傷者数 小計
令和6年（2024年）		101	994	7,648	8,743	104	1,085	9,212	10,297
令和5年（2023年）		118	921	8,043	9,082	131	994	9,607	10,601
増減	増減数	-17	73	-395	-339	-27	91	-395	-304
	増減率	-14.4%	7.9%	-4.9%	-3.7%	-20.6%	9.2%	-4.1%	-2.9%

（※主要都道府県の交通事故死者数
東京都 146、愛知県 141、千葉県 131、大阪府 127、埼玉県 113）

（２）管内の発生概況

・令和 6 年（2024 年）中における管内の交通事故は、発生件数 442 件、死者数 14 人、傷者数 474 人であった。発生件数、傷者数は前年より減少したものの、死者数は増加となった。

区分＼年		発生件数 死亡	発生件数 重傷	発生件数 軽傷	発生件数 小計	死者数	傷者数 重傷者数	傷者数 軽傷者数	傷者数 小計
令和6年（2024年）		14	51	377	442	14	56	418	474
令和5年（2023年）		7	55	498	560	10	63	567	630
増減	増減数	7	-4	-121	-118	4	-7	-149	-156
	増減率	100.0%	-7.3%	-24.3%	-21.1%	40.0%	-11.1%	-26.3%	-24.8%



高規格道路
0

国土数値情報（H30行政区域データ）を加工して作成
(https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-v2_3.html)

令和6年（2024年）　市町村別発生状況

		発生件数	死者数	傷者数
1	音更町	62		70
2	士幌町	4	2	3
3	上士幌町	6		7
4	鹿追町	4		5
5	新得町	3	1	2
6	清水町	11	1	14
7	芽室町	20	2	18
8	中札内村	3		3
9	更別村	1		1
10	大樹町	2		2
11	広尾町	3	1	2
12	幕別町	30	2	33
13	池田町	2		2
14	豊頃町	4		4
15	本別町	1	1	
16	足寄町	2	1	1
17	陸別町			
18	浦幌町	2		2
19	帯広市	282	3	305
合　計		442	14	474

※高規格道路での事故含む

高規格道路	1		1

§２　交通事故の全体的な特徴について

（１）月別発生状況

・発生件数と傷者数は６月が最も多く、死者数は６月と８月の３人が最も多かった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	40	48	45	33	25	51	30	28	37	47	26	32	442
構成率	9.0%	10.9%	10.2%	7.5%	5.7%	11.5%	6.8%	6.3%	8.4%	10.6%	5.9%	7.2%	100%
死者数				1	1	3	1	3	2		2	1	14
構成率				7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	21.4%	14.3%		14.3%	7.1%	100%
傷者数	41	50	49	36	25	59	34	26	41	49	26	38	474
構成率	8.6%	10.5%	10.3%	7.6%	5.3%	12.4%	7.2%	5.5%	8.6%	10.3%	5.5%	8.0%	100%

［一日平均の事故］

発生件数	1.21	（件/日）
死者数	0.04	（人/日）
傷者数	1.30	（人/日）

［１か月平均の事故］

発生件数	36.83	（件/月）
死者数	1.17	（人/月）
傷者数	39.50	（人/月）

（２）曜日別発生状況

・発生件数、傷者数は木曜日が最も多かった。

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
発生件数	70	59	53	87	60	63	50	442
構成率	15.8%	13.3%	12.0%	19.7%	13.6%	14.3%	11.3%	100%
死者数	2	1	1	3	1	3	3	14
構成率	14.3%	7.1%	7.1%	21.4%	7.1%	21.4%	21.4%	100%
傷者数	76	61	58	92	69	62	56	474
構成率	16.0%	12.9%	12.2%	19.4%	14.6%	13.1%	11.8%	100%

（３）時間別発生状況

・発生件数は８時～10時が多く発生し、死者数も同時間帯が最も多くなった。

・致死率は昼間2.7%、夜間4.7%となった。

発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	2	3	5	35	74	47	70	64	65	46	21	10	442
構成率	0.5%	0.7%	1.1%	7.9%	16.7%	10.6%	15.8%	14.5%	14.7%	10.4%	4.8%	2.3%	100%
死者数	1	1		3	5			1	1		1	1	14
構成率	7.1%	7.1%		21.4%	35.7%			7.1%	7.1%		7.1%	7.1%	100%
致死率		33.3%		8.6%	6.8%			1.6%	1.5%		4.8%	10.0%	3.2%
傷者数	1	3	5	40	73	52	79	65	74	48	24	10	474
構成率	0.2%	0.6%	1.1%	8.4%	15.4%	11.0%	16.7%	13.7%	15.6%	10.1%	5.1%	2.1%	100%

区分 / 項目	昼間（日出～日没）	夜間（日没～日出）
発生件数	336	106
発生構成率	76.0%	24.0%
死者数	9	5
死者構成率	64.3%	35.7%
致死率	2.7%	4.7%
傷者数	363	111
傷者構成率	76.6%	23.4%

（4）道路別発生状況

・発生件数、傷者数は市町村道が最も多く、死者数は国道が最多となった。

道路別	国　道	道　道	市町村道	高速国道	指定自専道	その他の道　路	合　計
発生件数	96	104	218	1		23	442
構　成　率	21.7%	23.5%	49.3%	0.2%		5.2%	100.0%
死者数	6	5	3				14
構　成　率	42.9%	35.7%	21.4%				100%
傷者数	106	114	230	1		23	474
構　成　率	22.4%	24.1%	48.5%	0.2%		4.9%	100%

（5）道路形状別発生状況

・市街地（交差点）での発生が最も多かった。

道路形状	市街地						非市街地						合　計
	交差点		単路			その他	交差点		単路			その他	
	交差点	交差点付近	トンネル	カーブ	その他		交差点	交差点付近	トンネル	カーブ	その他		
発生件数	215	39		3	88	17	37	3		6	28	6	442
構成率	48.6%	8.8%		0.7%	19.9%	3.8%	8.4%	0.7%		1.4%	6.3%	1.4%	100%
死者数	4			1	1					4	4		14
構成率	28.6%			7.1%	7.1%					28.6%	28.6%		100%
傷者数	228	41		2	103	17	40	5		4	28	6	474
構成率	48.1%	8.6%		0.4%	21.7%	3.6%	8.4%	1.1%		0.8%	5.9%	1.3%	100%

（6）事故類型別発生状況

・発生件数、傷者数ともに車と車の事故が最も多かった。

・死者は人と車、車と車の事故が同数で５人、車単独の事故では４人であった。

	人と車の事故	自転車対車両	車と車の事故	車単独の事故	合　計
発生件数	50	35	347	10	442
構成率	11.3%	7.9%	78.5%	2.3%	100%
死者数	5		5	4	14
構成率	35.7%		35.7%	28.6%	100%
傷者数	45	35	388	6	474
構成率	9.5%	7.4%	81.9%	1.3%	100%

（7）状態別死者・傷者状況

・死者数、傷者数ともに運転中（乗用車）が最も多かった。

		歩行中	自転車乗車中	運転中				同乗中				特殊車乗車中	電車・汽車軽車両等	合計
				乗用車	貨物車	自動二輪	原付	乗用車	貨物車	自動二輪	原付			
死者数	R06	5		6		3								14
	構成率	35.7%		42.9%		21.4%								100%
	R05	1		2	1	2		4						10
	構成率	10.0%		20.0%	10.0%	20.0%		40.0%						100%
傷者数	R06	46	35	298	38	5		44	8					474
	構成率	9.7%	7.4%	62.9%	8.0%	1.1%		9.3%	1.7%					100%
	R05	58	67	382	43	7		60	9			1	3	630
	構成率	9.2%	10.6%	60.6%	6.8%	1.1%		9.5%	1.4%			0.2%	0.5%	100%

（8）年齢層別状態別死者・傷者数

【年齢層別状態別死者数】

年齢＼状態		四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車汽車軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
～64歳	16-19歳											
	20-24歳									2		2
	25-29歳											
	30歳代	1										1
	40歳代					1				1		2
	50歳代	1				1						2
	60-64歳											
高齢者	65-69歳					1						1
	70-74歳	3										3
	75-79歳									1		1
	80歳以上	1								1		2
高齢者計		4				1				2		7
構成率		28.6%				7.1%				14.3%		50%
合計		6				3				5		14
構成率		42.9%				21.4%				35.7%		100.0%

【年齢層別状態別傷者数】

年齢＼状態		四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車汽車軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
未就学児			1							1		2
幼稚園児			2									2
小学生			6						3	3		12
中学生			1						5	1		7
高校生			1						15			16
～64歳	15歳以下		10						11	5		26
	16-19歳	4	3						12			19
	20-24歳	17	4	3	1				2	1		28
	25-29歳	25	1	7	1				2	1		37
	30歳代	55	3	7	1				1	3		70
	40歳代	84	8	7	3	3			2	5		112
	50歳代	61	8	7	1	1			1	13		92
	60-64歳	19	1	3						5		28
高齢者	65-69歳	5	2	3					2	1		13
	70-74歳	15	1	1	1				1	7		26
	75-79歳	10	2			1			1	3		17
	80歳以上	3	1							2		6
高齢者計		33	6	4	1	1			4	13		62
構成率		7.0%	1.3%	0.8%	0.2%	0.2%			0.8%	2.7%		13.1%
合計		298	44	38	8	5			35	46		474
構成率		62.9%	9.3%	8.0%	1.7%	1.1%			7.4%	9.7%		100.0%

（9）法令違反別発生状況（第一当事者）

・発生件数は「一時不停止（構成率 17.9%）」が最も多く、次いで「前方不注意」であった。

	酒酔い	追越し	通行区分	歩行者妨害	最高速度	過労運転	信号無視	一時不停止	車間距離	踏切	交差点安全通行	交差点徐行	右折	左折
件数	1		3	22	2	1	42	79			6			
構成率	0.2%		0.7%	5.0%	0.5%	0.2%	9.5%	17.9%			1.4%			
死者数	1			1	2		1	1						
構成率	7.1%			7.1%	14.3%		7.1%	7.1%						
傷者数			3	21		1	50	83			7			
構成率			0.6%	4.4%		0.2%	10.5%	17.5%			1.5%			

		安全運転義務違反											
	整備不良	前方不注意	動静不注視	前左右不確認	ハンドル操作	ブレーキ操作	安全速度	後方不確認	その他	その他の違反	不明	歩行者の違反	合計
件数		74	32	40	8	27	2	28	5	69	1		442
構成率		16.7%	7.2%	9.0%	1.8%	6.1%	0.5%	6.3%	1.1%	15.6%	0.2%		100%
死者数		5			3								14
構成率		35.7%			21.4%								100%
傷者数		85	35	40	8	29	2	29	5	75	1		474
構成率		17.9%	7.4%	8.4%	1.7%	6.1%	0.4%	6.1%	1.1%	15.8%	0.2%		100%

（10）居住地別発生状況（第一当事者）

・全事故の 90.5%は管内居住者、6.3%が道内居住者、2.9%が道外居住者によるものであった。

居住地		管内における事故	管外者		不明	合計
		管内計	道内	道外		
R06	発生件数	400	28	13	1	442
	構成率	90.5%	6.3%	2.9%	0.2%	100%
	死者数	13	1			14
	構成率	92.9%	7.1%			100%
	傷者数	429	30	14	1	474
	構成率	90.5%	6.3%	3.0%	0.2%	100%
R05	発生件数	503	31	18	8	560
	構成率	89.8%	5.5%	3.2%	1.4%	100%
	死者数	5	5			10
	構成率	50.0%	50.0%			100%
	傷者数	559	40	22	9	630
	構成率	88.7%	6.3%	3.5%	1.4%	100%
増減数	件数	-103	-3	-5	-7	-118
	死者数	8	-4			4
	傷者数	-130	-10	-8	-8	-156

（11）対象別発生状況（第一当事者）

- 発生件数は女性運転者(構成率 37.2%)が最も多く、次いで高齢運転者(構成率 27.8%)であった。
- 死者数は高齢運転者５人(構成率 38.5%)が最も多かった。

		若年運転者	高校生	大学生	高齢運転者	女性運転者	建設業	運送業	公務員
R06	発生件数	51		5	124	166	30	3	17
	構成率	11.4%		1.1%	27.8%	37.2%	6.7%	0.7%	3.8%
	死者数	1			5	3	2		1
	構成率	7.7%			38.5%	23.1%	15.4%		7.7%
	傷者数	58		6	135	177	31	4	19
	構成率	12.0%		1.2%	27.8%	36.5%	6.4%	0.8%	3.9%
R05	発生件数	74		6	169	213	37	12	12
	構成率	12.5%		1.0%	28.6%	36.1%	6.3%	2.0%	2.0%
	死者数	5			2	1		4	
	構成率	35.7%			14.3%	7.1%		28.6%	
	傷者数	86		6	191	242	45	15	15
	構成率	12.7%		0.9%	28.2%	35.7%	6.6%	2.2%	2.2%

		農林業	漁業	ハイヤータクシー	路線バス	貸切バス	レンタカー	スクールバス	ダンプカー
R06	発生件数	29	2	7	1		10		1
	構成率	6.5%	0.4%	1.6%	0.2%		2.2%		0.2%
	死者数	1							
	構成率	7.7%							
	傷者数	33	2	7	1		10		2
	構成率	6.8%	0.4%	1.4%	0.2%		2.1%		0.4%
R05	発生件数	31	1	7	1		23		4
	構成率	5.3%	0.2%	1.2%	0.2%		3.9%		0.7%
	死者数	1							1
	構成率	7.1%							7.1%
	傷者数	35	1	8	1		30		3
	構成率	5.2%	0.1%	1.2%	0.1%		4.4%		0.4%

※各件数重複含む

§３　事故の個別的特徴について

（１）二輪車の交通事故

・二輪車事故は３件発生し、すべて小型二輪による事故であった。

		二輪車				
		小型二輪	軽二輪	原付二種	原付	計
R06年	件　数	3				3
	死者数	3				3
	傷者数					
R05年	件　数	1	1			2
	死者数	1				1
	傷者数	1	1			2
増減数	件　数	2	-1			1
	死者数	2				2
	傷者数	-1	-1			-2

※第一当事者別発生状況

（２）高校生の交通事故

・死者はなかった。

・傷者数は 16 人（自転車乗用中 15 人、四輪乗用車同乗中 1 人）であった。

（３）歩行者の交通事故

【死者数】

・全体の死者数 14 人中、歩行中の死者数は５人(構成率 35.7%)であった。

・歩行中の死者５人中２人は、高齢者であった。

15歳以下	16-19歳	20-24歳	25-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳
		2			1		

65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上
		1	1

高齢者（2）

歩行者の全体死者数 5

【傷者数】

・全体の傷者数 474 人中、歩行中の傷者数は 46 人（構成率 9.7%）であった。

・高齢歩行者の傷者数は 13 人であった。

未就学児	幼稚園児	小学生	中学生	高校生
1		3	1	

15歳以下	16-19歳	20-24歳	25-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60-64歳
5		1	1	3	5	13	5

65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳以上
1	7	3	2

高齢者（13）

歩行者の全体傷者数 46

（4）こどもの交通事故（未就学児～小学生）

・こどもの傷者数は 16 人（構成率 3.4%）であった。

	乗用車（同乗中）	自転車乗用中	歩行中	計
未就学児	1		1	16
幼稚園児	2			
小学生	6	3	3	

（5）高齢者(65 歳以上)の交通事故

・全体死者数 14 人のうち、高齢者は 7 人（構成率 50.0%）であった。
・全体傷者数 474 人中、高齢者は 62 人（構成率 13.1%）であった。
・全体発生件数 442 件のうち、高齢運転者が第一当事者であったのは 124 件（構成率 28.1%）であった。

年齢＼状態		四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車汽車軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
高齢者	65-69歳					1						1
	70-74歳	3										3
	75-79歳									1		1
	80歳以上	1								1		2
高齢者計		4				1				2		7
構成率		28.6%				7.1%				14.3%		50%

P4.（8）年齢層別状態別死者・傷者数【年齢層別状態別死者数】より抜粋

年齢＼状態		四輪乗用車		四輪貨物車		自動二輪		特殊車乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車汽車軽車両等	合計
		運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中					
高齢者	65-69歳	5	2	3					2	1		13
	70-74歳	15	1	1	1				1	7		26
	75-79歳	10	2			1			1	3		17
	80歳以上	3	1							2		6
高齢者計		33	6	4	1	1			4	13		62
構成率		7.0%	1.3%	0.8%	0.2%	0.2%			0.8%	2.7%		13.1%

P4.（8）年齢層別状態別死者・傷者数【年齢層別状態別傷者数】より抜粋

		高齢運転者
R06	発生件数	124
	構成率	27.8%
	死者数	5
	構成率	38.5%
	傷者数	135
	構成率	27.8%

P6.（11）対象別発生状況（第一当事者）より抜粋

（6）自転車による交通事故

・自転車乗用中の死者数はなかった。
・自転車乗用中の傷者数は 35 人となり昨年（67 人）より 32 人減少した。

〇自転車乗用中被害の違反別傷者数

	交差点安全進行義務違反	一時不停止	安全不確認	その他	違反なし第3当以下	合計
死者数						
傷者数	10	1	3	3	18	35

（7）飲酒運転による交通事故

・酒酔いによる発生は 1 件で死者も 1 人となった。
・酒気帯びによる発生件数は 6 件（構成率 1.6%）で、死者は 0 人であった。

		酒酔い	酒気帯び（内数）		全体発生件数
			0.25未満	0.25以上	
R06	件数	1		6	442
	死者数	1			14
	傷者数			6	474
R05	件数		1	6	560
	死者数				10
	傷者数		1	9	630

§４　交通事故防止に向けた取組み

（1）令和６年（2024 年）取組概要　※当局主催、及び参加分

実施日	事業名及び取り組み概要（主催）	場所
2月27日（火）	令和6年交通安全運動「春の推進会議」（十勝総合振興局）	十勝総合振興局
4月5日（金）	春の全国交通安全運動「交通安全祈願祭」（帯広市交通安全協会）	帯広明神大社
4月10日（水）	春の踏切事故防止キャンペーン（北海道旅客鉄道株式会社）	A団地踏切（帯広市）
4月10日（水）	春の全国交通安全運動「交通事故死ゼロを目指す日」旗波作戦（十勝総合振興局）	十勝合同庁舎前国道３８号
5月22日（水）	交通安全と防犯の街頭啓発（帯広市、帯広市交通安全推進委員連絡協議会、帯広市防犯協会）	イトーヨーカドー帯広店前
6月25日（火）	「無事故の日」に先駆けた旗の波作戦（十勝総合振興局）	十勝合同庁舎前国道３８号
7月12日（金）	「飲酒運転根絶の日」決起大会（北海道交通安全推進委員会、十勝地区交通安全推進協議会、十勝総合振興局）	十勝総合振興局
7月12日（金）	「飲酒運転根絶の日」街頭啓発（十勝総合振興局）	帯広市内中心部飲食店
7月13日（土）	「飲酒運転根絶の日」街頭啓発（十勝総合振興局）	帯広競馬場（ばんえい十勝）
7月16日（火）	交通安全と防犯の街頭啓発（帯広市、帯広市交通安全推進委員連絡協議会、帯広市防犯協会）	ぴあざフクハラ西帯広店
8月9日（金）	旗の波作戦（釧路方面帯広警察署）	十勝合同庁舎前国道３８号
8月28日（水）	「交通事故ストップ十勝百日作戦」及び「秋の全国交通安全運動」推進会議（十勝総合振興局）	十勝総合振興局
9月10日（火）	秋の全国交通安全運動　第14回帯広市交通事故抑止総決起大会（帯広市、帯広市交通安全推進委員連絡協議会）	帯広市中央公園
9月11日（水）	帯広市街頭啓発	フクハラ西18条店
9月20日（金）	秋の全国交通安全運動「交通安全祈願祭」（帯広市交通安全協会）	帯広明神大社
9月25日（水）	帯広市街頭啓発	ダイイチ自衛隊前店
9月30日（月）	「交通事故死ゼロを目指す日」旗の波作戦（十勝総合振興局）	十勝合同庁舎前国道３８号
10月8日（火）	交通死亡事故抑止全市一斉街頭啓発（帯広市、帯広市交通安全協会）	大通南1丁目交差点
11月8日（金）	芽室町街頭啓発	ダイイチめむろ店
11月15日（金）	帯広市街頭啓発	イーストモール
12月3日（火）	飲酒運転根絶ポスターの掲示	帯広駅北　地下駐車場

（２）高齢者による交通事故防止への取組み

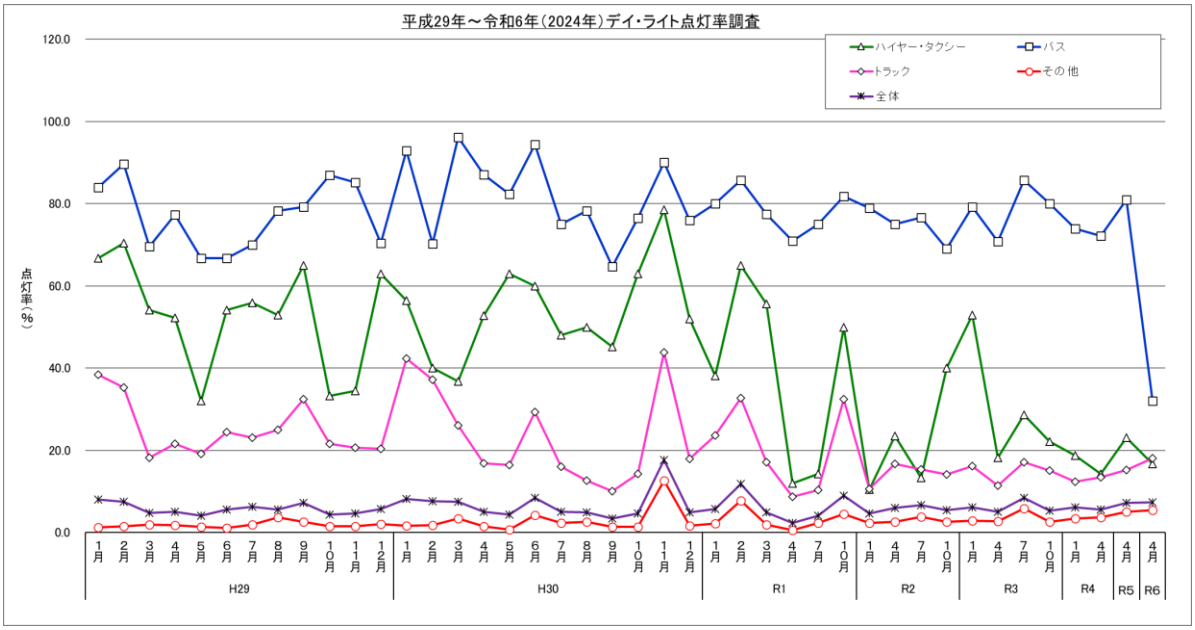
・夜光反射材普及啓発

十勝合同庁舎１階道民ホールの交通安全情報板を利用し、反射材の配布等を実施した。

（３）デイ・ライト点灯率調査

R6（2024年）デイライト点灯率調査（%）

	4月
ハイヤー・タクシー	16.7
バス	32.0
トラック	18.1
その他	5.5
平　　均	7.4



※調 査 地 点：帯広市西２条北１丁目　国道 38 号線交差点
※調 査 時 間：14：00～15：00 までの１時間
※調　査　日：４月の第２金曜日
※H31.4～四半期ごとの調査へ変更
※R4 年度～年１回調査へ変更。
　公益社団法人北海道交通安全推進委員会での協議の結果、年一回調査へ変更。
（デイライト運動はある程度定着しており、経年変化を確認することで調査目的は達成されると判断されたため）

参考資料

1.管内死亡事故の概要

令和6年（2024年）　十勝管内の交通死亡事故一覧表

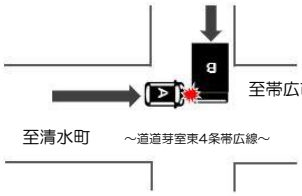
1

日時	令和6年4月26日（金）午前7時10分頃				
場所	芽室町東芽室南2線（道道）				
天候	晴れ	路面	乾燥	市街地 非市街地	市街地
形状	交差点	形態	車両相互 出会い頭	死亡者状況	運転中

軽四乗用A×大型貨物B

A 軽四乗用　芽室町　74歳（女性） 死亡

B 大型貨物　帯広市　55歳（男性） 怪我なし



現場は信号のある交差点。
道道を東進していた軽四乗用Aが、左から来た大型貨物Bに衝突したもの。

2

日時	令和6年5月2日（木）午後3時35分頃				
場所	幕別町字相川（国道38号）				
天候	晴れ	路面	乾燥	市街地 非市街地	非市街地
形状	単路	形態	車両相互 右折時	死亡者状況	運転中

大型二輪A×普通貨物B

A 大型二輪　幕別町　51歳（男性） 死亡

B 普通貨物　幕別町　54歳（男性） 怪我なし

現場は片側1車線の見通しの良い直線道路。
右折中の普通貨物Bに後続の大型二輪Aが衝突したもの。

3

日時	令和6年6月20日（木）午前7時55分頃				
場所	幕別町字豊岡（町道）				
天候	曇	路面	半湿潤	市街地 非市街地	非市街地
形状	単路 カーブ	形態	車両相互 正面衝突	死亡者状況	運転中

普通乗用A×普通貨物B

A　運転者　浦幌町　72歳（女性）　死亡
　　同乗者　神奈川県　73歳（女性）　重傷

B　運転者　帯広市　26歳（男性）　軽傷
　　同乗者　帯広市　36歳（男性）　軽傷

現場は片側1車線の緩やかなカーブ。
いずれかの車両が対向車線へはみ出し衝突したもの。

4

日時	令和6年6月26日（水）午前7時20分頃				
場所	士幌町字下居辺基線（道道）				
天候	晴れ	路面	乾燥	市街地 非市街地	非市街地
形状	単路 カーブ	形態	車両相互 正面衝突	死亡者状況	運転中

軽四乗用A×普通乗用B

A 軽四乗用　池田町　56歳（男性） 死亡

B 普通乗用　帯広市　24歳（男性） 重傷

現場は片側1車線で、緩やかなカーブの坂道。
いずれかの車両が対向車線へはみ出し衝突したもの。

5	日時	令和6年6月29日（土）午前8時55分頃					普通乗用A×歩行者B A 普通乗用　帯広市　24歳（男性）　怪我なし B　歩行者　　帯広市　87歳（男性）　死亡
	場所	帯広市西22条南2丁目（市道）					
	天候	晴れ	路面	乾燥	市街地 非市街地	市街地	
	形状	交差点	形態	人対車両 横断中	死亡者状況	横断中	
	現場は横断歩道や信号機のない片側一車線の直線で、ゆるやかな下り坂。 道路を横断していた歩行者Bを、右から来た普通乗用Aがはねたもの。						

6	日時	令和6年7月8日（月）午前9時25分頃					普通乗用A A 普通乗用　足寄町　30歳（男性）　死亡
	場所	足寄町芽登（道道本別留辺藥線）					
	天候	－	路面	－	市街地 非市街地	非市街地	
	形状	単路 カーブ	形態	車両単独 工作物衝突	死亡者状況	運転中	
	現場は片側1車線で、緩い左カーブを抜けてからの直線道路。 置戸方面へ進行中、対向車線へはみ出して路外に逸脱し、電柱をなぎ倒すなどして横転したとみられる。						

7	日時	令和6年8月3日（土）午後10時50分頃					普通乗用A×歩行者B A 普通乗用　本別町　31歳（男性） B　歩行者　　本別町　76歳（男性）　死亡
	場所	中川郡本別町勇足（国道242号）					
	天候	－	路面	－	市街地 非市街地	非市街地	
	形状	単路 その他	形態	人対車両 対面通行中	死亡者状況	車道通行	
	現場は勇足市街地から池田方面へ約3キロの地点で、横断歩道や信号機のない片側1車線の直線道路。 本別方面へ走行中の普通乗用Aが、歩行者Bと衝突したもの。						

8	日時	令和6年8月20日（火）午前3時9分頃					普通乗用A×歩行者B A 普通乗用　帯広市　60歳（男性）　怪我なし B　歩行者　　帯広市　21歳（男性）　死亡
	場所	帯広市西17条南1丁目（国道38号）					
	天候	雨	路面	湿潤	市街地 非市街地	市街地	
	形状	単路	形態	人対車両	死亡者状況	路上横臥	
	現場は片側2車線の直線道路。 普通乗用Aが歩行者Bをはねて死亡させたもの。						

9	日時	令和6年8月22日（木）午前9時20分頃					普通乗用A A 普通乗用　広尾町　87歳（男性）　死亡
	場所	広尾町野塚（道道広尾大樹線）					
	天候	－	路面	－	市街地 非市街地	非市街地	
	形状	単路	形態	車両単独 工作物衝突	死亡者状況	運転中	
	現場は見通しの良い片側1車線の直線道路。大樹から広尾方向に進行中、対向車線にはみ出し、30メートル程度路側帯を走行した後、右手側の草地に転落したもの。						

10	日時	令和6年9月8日（日）午前9時30分頃					二輪A A 二輪　釧路市　47歳（男性）死亡
	場所	清水町清水日勝峠3合目付近（国道274号）					
	天候	－	路面	乾燥	市街地 非市街地	非市街地	
	形状	単路 カーブ	形態	車両単独 工作物衝突	死亡者状況	運転中	
	現場は左カーブで、登板車線と追越車線がある上り坂。二輪Aが対向車線をはみだしガードロープへ衝突したもの。Aは札幌方面へツーリング中であった。						

11	日時	令和6年9月29日（日）午前9時台					二輪A A 二輪　音更町　65歳（男性）死亡
	場所	新得町上佐幌（町道）					
	天候	－	路面	－	市街地 非市街地	市街地	
	形状	単路 カーブ	形態	車両単独 工作物衝突	死亡者状況	運転中	
	現場は右カーブの上り坂。二輪Aが車線をはみだしガードロープへ衝突したもの。 Aは富良野方面へツーリング中であった。						

12	日時	令和6年11月4日（月）午後5時53分頃					普通乗用A×歩行者B A 普通乗用　新得町　37歳（男性） B 歩行者　芽室町　48歳（男性）死亡
	場所	芽室町本通9丁目（国道38号）					
	天候	雨	路面	湿潤	市街地 非市街地	市街地	
	形状	交差点	形態	人対車両 横断中	死亡者状況	横断中	
	現場は片側2車線の歩行者用信号機がついていない横断歩道。横断歩道上の歩行者に普通乗用Aが衝突したもの。事故当時は小雨が降っており路面はぬれていた。						

13	日時	令和6年11月9日（土）午前1時32分頃					普通乗用A×歩行者B A 普通乗用　士幌町　29歳（女性） B 歩行者　士幌町　23歳（男性）死亡
	場所	士幌町字士幌西2線（国道241号）					
	天候	曇り	路面	乾燥	市街地 非市街地	非市街地	
	形状	単路	形態	人対車両 背面通行中	死亡者状況	横断中	
	現場は横断歩道や信号のない片側1車線の直線道路。 道路上で普通乗用Aが歩行者Bをはねたもの。						

14	日時	令和6年12月22日（日）午後8時50分頃					軽四乗用A×普通乗用B A 軽四乗用　帯広市　72歳（男性）死亡 同乗者　札幌市　55歳（女性）重傷 B 普通乗用　帯広市　33歳（男性）軽傷
	場所	帯広市西5条南15丁目（道道）					
	天候	曇り	路面	湿潤	市街地 非市街地	市街地	
	形状	交差点	形態	車両相互 出会い頭	死亡者状況	運転中	
	現場は信号機のない交差点。軽四乗用Aの右側面と普通乗用Bの正面が衝突したもの。 路面はぬれていたが凍結はしておらず、軽四乗用A側に一時停止の標識があった。						

令和6年度（2024年度）交通安全功労者等の表彰状況

1．北海道知事表彰(十勝地区)

北海道善行賞（交通安全実践者）

2名

2．公益社団法人北海道交通安全推進委員会会長表彰（十勝地区）

交通安全指導員・奉仕員表彰受賞者

1名　　（音更町1名）

3.十勝地区交通安全推進協議会の規約等

十勝地区交通安全推進協議会規約

（ 目　　的 ）
第 1 条　この会は、公益社団法人北海道交通安全推進委員会の事業を地域に適応させ円滑に運営するとともに十勝管内における交通道徳の向上と交通事故防止のための住民運動を活発に展開することを目的とする。
（　名　称　）
第 2 条　この会は、十勝地区交通安全推進協議会とする。
（　業　務　）
第 3 条　この会は、第１条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)　公益社団法人北海道交通安全推進委員会が行う事業への参画。
(2)　住民運動を効果的に推進するための企画立案と実践。
(3)　構成員相互の連絡調整。
(4)　交通安全に関する調査研究。
(5)　その他、地区において必要と認める事項。
（ 事 務 局 ）
第 4 条　この会の事務局は十勝総合振興局保健環境部環境生活課内におく。事務局の規程は別に定める。
（ 構 成 員 ）
第 5 条　この会は、次の者をもって構成する。
(1)　十勝管内の市町村単位に設置されている交通安全を推進する団体、〈市町村推進委員(協議)会〉
(2)　十勝総合振興局
(3)　その他、十勝管内全域にわたって交通安全に関係の深い団体。但し、総会の承認を得ること。
（　役　員　）
第 6 条　この会に次の役員を置く。
会　　長　　1 名
副 会 長　　1 名
常任委員　　若干名
監　　事　　2 名
（役員の選任）
第 7 条　役員は、構成委員の互選による。
（役員の任期）
第 8 条　役員の任期は、２年とし再選を妨げない。
（役員の職務）
第 9 条　会長は、この会を代表し、会務を統括する。
2　副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。
3　常任委員は、会務を執行する。
4　監事は、会計を監査する。
(顧問及び参与)
第１０条　この会に、顧問及び参与を置くことができる。
2　顧問、参与は、役員会に諮って会長が委嘱する。
（　会　議　）
第１１条　会議は、総会及び役員会とする。
2　総会及び役員会は、書面によって表決する会議とすることができる。
（会議の構成）
第１２条　総会は、第５条の構成員をもって構成する。
2　役員会は、第６条の役員をもって構成する。
（会議の招集）
第１３条　会議は会長が招集する。
（　経　費　）
第１４条　この会は、つぎの経費をもって運営する。ただし、構成員が必要と認めた場合は、その事業に必要とする経費の分担金等を総会に諮り徴収することができる。
(1)　交付金

(2)　雑収入
（3）その他の収入
（会計年度）
第１５条　この会の会計年度は、４月１日から翌年３月３１日までとする。
（　委　任　）
第１６条　この規程に定めるものの他、この会の運営に必要な事項は、役員会に諮って会長が定める。

附　則
1.　この規約は、昭和５８年４月１日から施行する。
※「十勝地方交通安全運動推進委員会規約（昭和５０年４月１日施行）」は、本規約施行に伴い廃止された。
２．平成９年６月１７日より一部改正施行する。
３．平成１８年４月１日より一部改正施行する。
４．平成２２年４月１日より一部改正施行する
５．平成２８年５月３０日より一部改正施行する。

十勝地区交通安全推進協議会事務局規程

第１条　十勝地区交通安全推進協議会規約第４条に基づく事務局の運営は、この規程の定めるところによる。

第２条　事務局は次の職を置き、会の事務を司る。

局　長　　１名
幹　事　　１名
書　記　　１名
推進員　　１名

２　局長、幹事、及び書記は、十勝総合振興局保健環境部環境生活課の次の職員をもって充てる。

局　長　　環境生活課長
幹　事　　道民生活係長、主査（道民生活）の職にあるもの
書　記　　主任、主事の職にあるもの
推進員　　１名

３　推進員は、公益社団法人北海道交通安全推進委員会長が委嘱し、当総合振興局地区に配置される交通安全推進員をもって充てる。

第３条　局長は、事務を統括する。

２　幹事、書記、推進員は、局長の指示を受け局務に従事する。

第４条　事務局職員は、次の事務を司る。

⑴一般庶務
⑵関係機関との連絡調整に関すること。
⑶事務の企画、立案に関すること。
⑷実践活動の推進、及び広報に関すること。

第５条　この規程に定めのない事項については、局長が別に定める。

附　　則

１．この規程は、昭和５８年４月１日より施行する。
２．昭和５８年８月２２日より一部改正施行する。
３．平成　９年６月１７日より一部改正施行する。
４．平成１８年４月　１日より一部改正施行する。
５．平成２２年４月　１日より一部改正施行する。
６．平成２３年４月　１日より一部改正施行する。
７．平成３０年４月　１日より一部改正施行する。

4.十勝地区交通安全推進協議会構成団体名簿

令和6年度（2024年度）北海道交通安全推進委員会正会員名簿（十勝地区）

団体名			職名	氏名	地区協議会役職
音更町	音更町交通安全運動推進委員会		委員長	藤川　幸二	監事
士幌町	士幌町生活安全推進協議会		会長	加納　利春	
上士幌町	上士幌町生活安全推進協議会		会長	國光　義信	
鹿追町	鹿追町交通安全推進委員会		会長	喜井　知己	
新得町	新得町交通安全推進協議会		会長	浜田　正利	常任委員
清水町	清水町生活安全推進委員会		会長	阿部　一男	
芽室町	芽室町交通安全推進委員会		会長	田島　直人	
中札内村	中札内村地域安全推進協議会		会長	吉倉　孝尚	
更別村	更別村生活安全推進協議会		会長	宗像　弘文	
大樹町	大樹町地域安全推進協議会		会長	三浦　祥嗣	
広尾町	広尾町地域安全推進協議会		会長	池下　藤吉郎	常任委員
幕別町	幕別町生活安全推進協議会		会長	平井　明光	監事
池田町	池田町生活安全推進協議会		会長	野村　修	
豊頃町	豊頃町生活安全推進協議会		会長	按田　武	
本別町	本別町交通安全推進委員会		会長	佐々木　基裕	常任委員
足寄町	足寄町交通安全推進委員会		会長	渡辺　俊一	
陸別町	陸別町交通安全推進委員会		会長	本田　学	
浦幌町	浦幌町生活安全推進協議会		会長	井上　亨	
帯広市	帯広市交通安全推進委員連絡協議会		会長	塚田　茂男	常任委員
十勝地区交通安全推進協議会	十勝総合振興局長		野口　正浩		会長
	十勝総合振興局くらし・子育て担当部長		小原　由佳		副会長
	事務局	十勝総合振興局保健環境部環境生活課長	内田　朋宏		事務局長
		十勝総合振興局保健環境部環境生活課係長	磯崎　吉晴		幹事
		十勝総合振興局保健環境部環境生活課専門主任	牧　智彦		書記
		（公益社団法人）北海道交通安全推進委員会十勝地区交通安全推進員	加須屋　加織		推進員

令和7年（2025年）交通安全運動年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故

～めざせ　安全で安心な北海道～

令和6年（2024年）　　十勝の交通安全

令和7年（2025年）3月

発　　行　　十勝地区交通安全推進協議会

編　　集　　十勝総合振興局保健環境部環境生活課

※お問い合わせ
事務局　：　十勝総合振興局保健環境部環境生活課（道民生活係）
TEL：（0155）26-9249　FAX：（0155）22-3746